

教育活動DX KPI 重要業績評価指標

【全国学力・学習状況調査 児童生徒質問紙】

・ICT機器の活用状況に肯定的回答した児童生徒の割合

①授業でタブレットなどの ICT 機器を、週3回以上使用した 小:58.3%(R6)→80%(R8) 中:75.9%(R6)→80%(R8)	⑤画像や動画、音声等を活用することで、学習内容がよく分かる 小:89.4%(R6)→90%(R8) 中:89.2%(R6)→90%(R8)
②自分のペースで理解しながら学習を進めることができる 小:84.5%(R6)→90%(R8) 中:82.6%(R6)→90%(R8)	⑥自分の考えや意見を分かりやすく伝えることができる 小:76.7%(R6)→90%(R8) 中:80.1%(R6)→90%(R8)
③分からないことがあった時に、すぐ調べることができる 小:91.8%(R6)→95%(R8) 中:94.9%(R6)→95%(R8)	⑦友達と考えを共有したり比べたりしやすくなる 小:87.0%(R6)→90%(R8) 中:87.2%(R6)→90%(R8)
④楽しみながら学習を進めることができる 小:83.4%(R6)→90%(R8) 中:81.6%(R6)→90%(R8)	⑧友達と協力しながら学習を進めることができる 小:88.5%(R6)→90%(R8) 中:86.6%(R6)→90%(R8)

校務DX KPI 重要業績評価指標

クラウド環境を活用した校務 DX を積極的に推進している学校

・保護者へのアンケート、校内での情報や資料共有について、クラウドツールを積極的に取り入れている学校の割合 100%(R8)

教育データを利活用し、児童生徒へ適切な支援を行うことができる教職員の割合 100%(R8)

児童生徒用端末の活用に関する研修会(校内研修含む)へ参加する教職員の割合 100%(R8)

現金ではなく、口座振替、インターネットバンキング等を活用して、学校徴収金の徴収を行っている学校の割合 100%(R8)

生成 AI を校務で活用する学校の割合 100%(R8)

時間外在校等時間が年間 360 時間以下の教職員の割合 100%(R8)

※「KPI(重要業績評価指標:Key Performance Indicator)」とは、目標を達成するための取組の進捗状況を定量的に測定するための指標